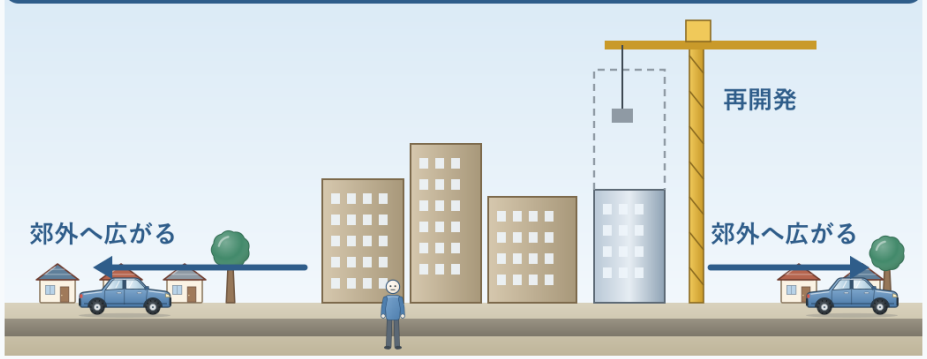
発展途上国と先進国で違う都市の問題

都市の問題は、急に大きくなる都市と古くからの都市とで、どのように現れ方がちがうのか

発展途上国の、急に大きくなる都市（架空）		先進国の、古くからの都市（架空）
		
農村から仕事を求めて、多くの人が都市へ移る	人口の移動	郊外へ市街地が広がり、中心部の人口が減る
住居や道路・水道などの整備が、人口の増加に追いつかない	住まいと施設	建物や道路・水道などの施設が古くなる
仕事の機会が足りず、失業が生まれることがある	仕事と人々	人口の減少と高齢化が進む
住宅や上下水道、ごみ処理などの整備を進める	取り組みの例	中心市街地を活性化する、再開発の取り組み

人口の移動・住まい・仕事などの要素は共通するが、急に大きくなる都市と古くからの都市とでは、問題の現れ方がちがう。2つの都市は架空で、住む人々のくらしを一面的に表すものではない。

※ 模式図。2つの都市は架空で、特定の都市を表さない。右の都市の特色は日本の都市の資料による。